

生物多様性向上への対応

当社グループは、インフラ事業を軸としてさまざまな事業を展開しており、サプライチェーン全体において自然との接点を有しています。自然環境・生態系からさまざまな恵みを受ける一方、事業活動を通じて自然に影響を与えていることを認識し、従来から環境影響の低減や地域の特性に応じた生物多様性の保全に取り組んできました。

近年、自然資本の劣化が進む中、自然への依存・影響を把握し、生物多様性への負の影響を低減するとともに、その回復・向上につなげていくことの重要性が高まっています。また、自然資本の劣化やネイチャーポジティブに向けた政策・市場の変化は、事業活動にリスクをもたらす一方、

自然に配慮した事業やサービスへのニーズの高まりなど、新たな事業機会にもつながります。

自然との関わりが深い当社グループにとって、自然への依存・影響を適切に把握・管理し、生物多様性の向上に取り組むことは、事業の持続性を確保するとともに、新たな事業機会を創出していくうえで重要です。こうした認識のもと、「関西電力グループにおける生物多様性の取組みに関する基本方針」に基づき、「事業持続性の確保」「機会の創出」「積極的な情報開示」に積極的に取り組むことで、事業の持続性を追求し、ステークホルダーのみならず信頼される企業を目指します。

取組① | 流域全体でつなぐ、黒部の自然共生プロジェクト

当社は、企業、自治体、研究機関、地域団体等が連携して進める「黒部川流域ネイチャーポジティブ・プロジェクト」に参画しています。本プロジェクトは、山岳から扇状地、里地里山、富山湾へとつながる黒部川流域の自然環境を一体的に捉え、その保全・再生を通じて、地域価値と企業価値の向上の両立を目指すランドスケープアプローチの実践事業です。全国初となる「流域ネイチャーポジティブ宣言」の表明を目指し、研究調査や市民参加型調査、合意形成、自然再生活動、人材育成、資金メカニズムの開発等を進めています。当社は、多様なステークホルダーとの協働を通じて、自然の恵みを将来にわたり享受できる地域づくりに貢献するとともに、事業活動と自然・地域社会とのより良い関係の構築に努めてまいります。



取組② | 水力発電事業と生物多様性保全を両立する、ラオスの流域保全プログラム

ラオス国ナムニアップ水力発電事業では、生物多様性の「No Net Loss」の達成を目標とし、ダム建設および湛水に伴う動植物への影響を緩和・回復するため、生物多様性保全プログラムを実施しています。本プログラムは、水力発電事業と生物多様性の保全を両立させるものであり、今後も事業と自然の共生に向けた取り組みを推進してまいります。



取組③ | 住まいに広がる生物多様性豊かなランドスケープ

関電不動産開発(株)では、新築分譲マンション「シエリア」の生物多様性保全方針「シエリアLink Greensプロジェクト」を2024年に策定し、以降に着工するシエリアに適用※しており、豊かな植生を創出するとともに、周辺緑地などのエコロジカルネットワークを形成することを目指しています。

※ 取組みの対象物件は、他社との共同事業の物件など一部の物件は対象外となる場合があります。

